

安全上のお知らせ

(中東呼吸器症候群 (MERS) コロナウイルス感染症について)

平成 27 年 6 月 11 日 ユジノサハリンスク領事館 領事班

ロシア連邦消費者権利保護・福祉監督庁によると、ロシア国内の各空港検疫所において、サウジアラビア、アラブ首長国連邦 (UAE)、韓国、中国からのフライトの乗客に対してサーモグラフィ

検査等検疫体制が強化されています。

当地においても「ホムトヴォ」空港で、6 日から空港に到着した航空機乗客に対して同庁職員が航空機に乗り込みサーモグラフィ検査を実施しています。現在のところ韓国と中国からの到着便に限定して検査を実施しているとの回答を得ています。

現時点で、ロシア国内には MERS 感染者及び疑いのある者はいないとのことですが、在留邦人及び旅行者の皆様におかれては、感染予防にご留意ください。

「参考」 ○ 海外安全ホームページ：[感染症広域情報](#)

「外務省スポット情報抜粋」

1. MERS コロナウイルス感染について

一般的にコロナウイルスは飛沫感染や接触感染で伝播し、風邪などの症状を引き起こします。通常その毒性はそれほど強くはありませんが、MERS のようにウイルスが変異した場合は強い毒性を持つ可能性があり、注意が必要です。現在、WHO や関係各国は、MERS コロナウイルスの感染経路や臨床経過等について、調査を進めています。

2. コロナウィルスに対する一般的な具体的予防策は以下のとおりです。

- ・ 休息，栄養を十分に取り，体に抵抗力をつける。
- ・ 手指等の衛生保持に心がける。
- ・ できるだけ人混みを避けるか，マスクの着用を励行する。
- ・ 咳やくしゃみの症状がある患者とは，可能な限り濃厚接触を避ける。
- ・ 温度の変化と乾燥しすぎに注意する。
- ・ 高熱，咳，呼吸困難等の症状が見られた時は，適切なタイミングで専門家の診断を受ける。

3. MERS コロナウィルスの特徴及び上記に追加する具体的予防策は以下のとおりです。

- ・ 感染者の約15%が医療従事者であり，緊急外来での院内感染が問題となっているため自宅療養が可能な場合は緊急外来の受診を控える。
- ・ 50歳以上の感染者は重症化するリスクが高く，注意が必要です。
- ・ 慢性疾患（糖尿病，高血圧，喘息，腎障害，心疾患，呼吸器疾患等）を持っている場合は重傷化するリスクが高く注意が必要です。
- ・ 感染源である可能性が高いラクダとの接触を避ける。